

<b>科目名：海外事情Ⅱ&lt;アジア&gt;</b> ( Current Issues in Asia ) 履修年次/時期：1・2年次 前期 授業形態：講義、演習、実地研修 担当教員：国際交流委員会委員長〈角田 晃(実務経験有)〉、委員		選必	2単位 (90時間)
学修目的	ベトナム社会主義共和国の文化を学び、異文化に対する見識を養うこと。また、ハノイにあるバックマイ病院を見学することにより、現地の医療事情を知ることが学修目的とする。 CP :1 に関連する。科目 No. S1A03S06		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	◎
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	
(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。		○	
3. 口腔の健康支援を通して、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。		
	(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。		
	(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		
◎： この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○： この講義・演習・実習と関連があるDP			
到達目標	1) ベトナム社会主義共和国の概要を知る。 2) ベトナム社会主義共和国の歴史、社会事情、文化について理解する。 3) ベトナム社会主義共和国の医療を理解し、我が国の医療事情と比較できる。 4) 海外を安全に旅することを理解し、実践できる。		
授業概要	ベトナム社会主義共和国での現地研修を通して社会事情や文化について学ぶ。具体的な研修内容は以下の通りである。 1) ハノイ市内を中心に歴史的建造物、文化施設を見学する。 2) 本学が過去にも訪問実績のある、ハノイ・バックマイ病院で現地研修を行う。 3) 参加者自身がテーマを設定のうえ目的地を訪問し、アジアの社会事情や文化を体験する。 費用は参加人数によって多少異なります。詳細はオリエンテーション時に説明します。		
評価方法	講義の理解度 (25%)、実地研修 (30%)、事後レポート (45%) レポートに対するフィードバックは必要に応じて適宜行う。		
予習・復習時間	【予習】0.8時間 【復習】0.8時間		
教科書	なし。		
参考書	ガイドブック(指定はありません)。図書館に関連書物、雑誌がありますので参考にして下さい。		
問い合わせ先	国際交流委員会委員長が最初の授業で公示。		

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 ( / )	研修概要説明会	予習：ベトナム社会主義共和国について 復習：手続きについて、書類の整理 キーワード：海外研修	講義 国際交流 委員長、 劉、委員
2 ( / )	旅行概要について	予習：海外渡航の手続き、ベトナム社会主義共和国の概要 復習：海外渡航の手続き、ベトナム社会主義共和国の概要 キーワード：渡航手続き	講義 国際交流 委員長、 劉、委員
3 ( / )	ベトナム社会主義共和国 基礎講座	予習：ベトナム社会主義共和国の概要、日常語 復習：ベトナム社会主義共和国の概要、日常語 キーワード：台湾の歴史	講義 国際交流 委員長、 劉、委員
4 ( / )	自由研修プランニング、専門家による指導	予習：研修に必要な準備、レストランや買い物の際の注意事項、ベトナム社会主義共和国の医療事情、プランニング 復習：研修に必要な準備、レストランや買い物の際の注意事項、ベトナム社会主義共和国の医療事情、プランニング キーワード：プランニング	講義 国際交流 委員長、 劉、委員、 ほか
5 ( / )	結団式	予習：海外渡航安全について 復習：海外事情引率者の話から本研修についての説明の確認 キーワード：渡航の安全	講義 国際交流 委員長、 委員、劉
6-9 (1日)	現地での研修 5日間(出国)		実地研修 劉、ほか 引率教員
10-13 (1日)	現地での研修(期間中、バックマイ病院・ハノイ市内を中心に研修及び自由研修)	キーワード：左記の建造物や施設	実地研修 劉、ほか 引率教員
14-17 (1日)	現地での研修		実地研修 劉、ほか 引率教員
18-21 (1日)	現地での研修		実地研修 劉、ほか

			引率教員
22-25 (1日)	現地での研修(帰国)		実地研修 劉、ほか 引率教員
26( / )	事後学習、レポート提出		講義 国際交流 委員長、 委員、劉